



ひ え だ

神戸市立稗田小学校

令和3年12月1日

12月号

冬休みに親子の会話を



緊急事態宣言下で始まった2学期でしたが、もうすぐ終わろうとしています。10月に緊急事態宣言が解除されたことにより、学習活動、校外学習、また自然学校、スポーツデイ、音楽会など、それまでできなかったことを10月、11月の2か月の間に行うことになりました。慌ただしさもありましたが、子供たちにとって大切なことは何かを考え、できるときにできることを行ってきました。先日、オープンスクールも行うことができました。11月になってしまいましたが、保護者の皆様に教室で学習するお子さまの姿を観てもらうこともできて、よかったです。2学期も、急な変更によりご迷惑とご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。また、感染症対策として日々の健康観察、参観時の約束事等にもご協力いただいたことに感謝申し上げます。

さて、もうすぐ冬休みです。13日間と短いですが、1年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。1年の終わりとして、ご家庭では、大掃除や片付けをすると思います。それは、1年間の終わりに掃除をしてきちんときれいな状態で新年を迎えたいとする昔からの風習です。ぜひ、片付け等をするときは、お子さまにも手伝わせてください。できれば、お子さまと一緒に同じ場所を掃除したり、片付けをしたりしてみてください。そこには、普段できないような会話がうまれるはずです。そして、作業後には、「ありがとう」の一言も添えてください。お子さまの自己有用感もぐっと上がるはずです。また、大晦日には、今年一年頑張ったことなどを話したり、元旦には、今年の抱負を出し合ったりしながら、年末年始に親子でたくさん会話をしてほしいと思います。

少し早いですが、親子の和やかな会話がある、そんな年末年始が過ごせることを願っています。

校長 亀井 優和



PTA 活動のベルマークの取り組みをコンクールに応募したところ、みごと優秀賞に選ばれましたので、ご紹介いたします。なお、今年度、ベルマークのポイントにより、1 輪車 2 台、逆上がり補助具 1 台を購入していただきました。ありがとうございました。

